

## 女川町における10年間の歯科保健医療活動

～2011年3月～2021年3月～



2021年 3月21日(日)

13:00～16:00 ZOOM Meeting



# 事後配布資料

本資料の二次利用などはお控えください  
必要時、お問合せください

### 内容

震災後10年を振り返って

木村 裕 (歯科医師, 木村歯科医院 (女川町), 女川歯科保健チーム代表)

女川町における歯科保健事業の展開

田守 未来 (女川町保健センター)

女川町における歯科保健活動への参加

中久木 康一 (歯科医師), 海津 早苗 (歯科衛生士), 尾形 藍 (歯科衛生士)

遠方からの中長期的支援

渡邊 充春 (歯科保健研究会 (大阪))

西本 美恵子 (NPO法人ウエルビーイング (福岡))

参加者間での意見共有、など



## 女川町における10年間の歯科保健医療活動 ～2011年3月～2021年3月～



日時 2021年 3月21日(日) 13:00～16:00

内容 震災後10年を振り返って  
木村 裕 (歯科医師, 木村歯科医院 (女川町), 女川歯科保健チーム代表)  
女川町における歯科保健事業の展開  
田守 未来 (女川町保健センター)  
女川町における歯科保健活動への参加  
中久木 康一 (歯科医師), 海津 早苗 (歯科衛生士), 尾形 藍 (歯科衛生士)  
遠方からの中長期的支援  
渡邊 充春 (歯科保健研究会 (大阪))  
西本 美恵子 (NPO法人ウエルビーイング (福岡))  
女川町関係者などからの指定発言  
参加者間での意見共有, など

【お問い合わせ先】 女川歯科保健チーム eagerdental@gmail.com

## 女川町での東日本大震災後の 歯科診療の復興を振り返って

女川町 木村歯科医院  
木村 裕

令和3年3月21日

## 女川町の被害状況

死者: **595**名

行方不明: **286**名

死者・行方不明者合計: **881**名 (8.8%)

住宅、建物被害(全壊+半壊): **3271** (85%)

仮設住宅建設完成戸数: **1294**

仮設住宅建設箇所: **30**

人口の推移: **10014**人 (H23年3月) → **7012**人 (H27年月)

令和3年2月現在 **6258**人

市町村名	死者数	行方不明者数	死者+行方不明者数	2010年人口	死者+行方不明者/人口
女川町	595	286	881	10051	8.77%
仙台市	891	30	921	1045903	0.09%
石巻市	3471	476	3947	160704	2.46%
東松島市	1125	35	1160	42909	2.70%
気仙沼市	1204	250	1454	73494	1.98%
南三陸町	611	237	848	17431	4.86%
陸前高田市	1555	223	1778	23302	7.63%
大槌町	803	473	1276	15277	8.35%

### 震災後の救護室の設営から女川地区仮設歯科診療所の開設まで

平成23年3月11日 東日本大震災発生

3月12日 女川町総合体育館内にて救護室設営  
3日間は医師の常駐が不可能な状態であったため、  
歯科治療以外にも対応せざるを得なかった。

3月15日 支援の医師が常駐するようになり、体育館内に歯科の  
応急の診療室を設営

3月20日過ぎ 石巻歯科医師会、宮城県歯科医師会に赴き、機材、  
材料を借り受け、ある程度の診療をできる体制を整える

住民の交通手段がなく、避難所を回り診療

4月17日 診療車借り受ける

4月18日 総合体育館、女川町老健の2ヶ所で診療を開始

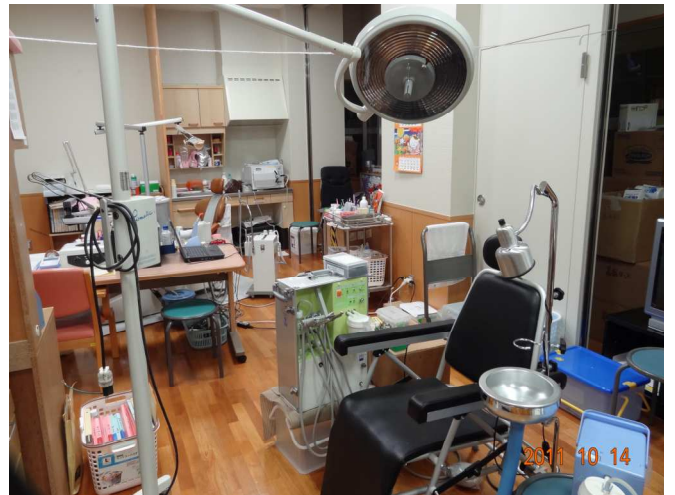
平成23年11月1日 女川地区仮設歯科診療所開設  
(コマツハウスの提供によるフレハブ、薬局と集会所の棟続き)

平成24年5月1日 女川地区仮設歯科診療所移転(旧女川町老健)  
平成30年4月1日 木村歯科医院開設し現在に至る

**歯科診療**  
時間変更のお知らせ  
※4月18日(月)より、歯科診療時間を下記に変更いたします。  
場所: 総合体育館内仮設診療所  
曜日: 月・火・水・金  
時間: 午前9:00～12:00  
場所: 老人保健施設 2階  
曜日: 月・火・水・金  
時間: 午後1:00～3:00







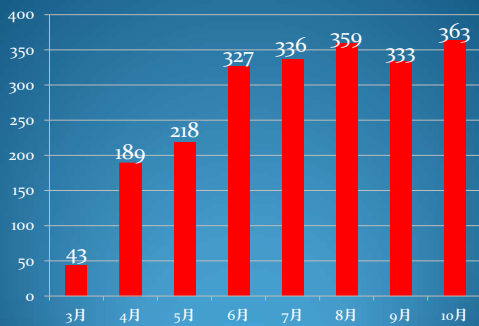




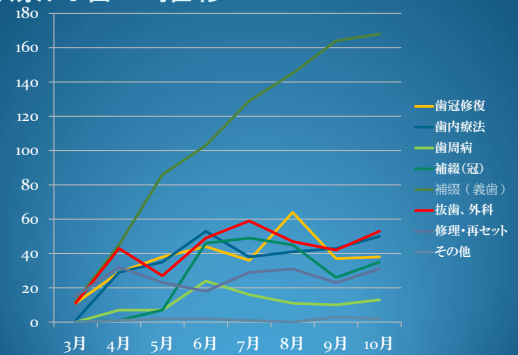
## 東日本大震災の被害状況の特徴

- 被害が建物の倒壊、火災によるものに対し、東日本大震災では被害の殆どが津波による被害であった。
- 津波で海に引き込まれた人が多く、行方不明者が多い。
- 津波で医院がまるごと海に流されたところでは診療録がすべて失われ、カルテで身元確認をすることが出来ないが多かった。
- 被害が広範囲にわたり、しかもリアス式海岸の地形のため、平地が少なく復興住宅、宅地造成がなかなか進まず、仮設住宅住まいが長期化
- 被災地の多くが東北沿岸部で過疎化、高齢化が著しく進んでいたが、震災によりその状況が急加速した
- 阪神淡路大震災の経験を踏まえ、ボランティア活動、支援体制は比較的恵まれていた。

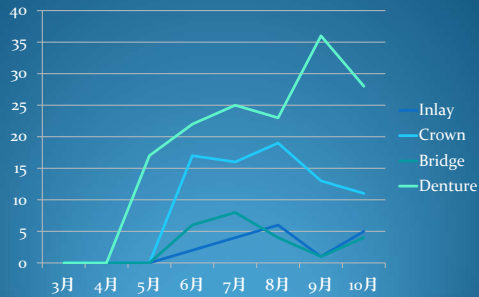
## 女川町歯科救護所における患者数の推移



## 女川町歯科救護所における治療内容の推移



## 女川町歯科救護所における 外注補綴物装着実績

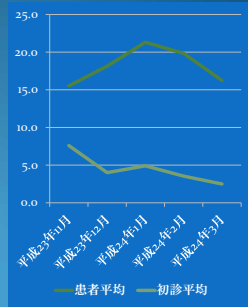


## 宮城県歯派遣チームによる対応 平成23年3月28日～平成23年7月7日

月	実日数	のべ派遣人数		のべ巡回避難所数	処置										合計									
		歯科医師	歯科衛生士		合計	義歯修理・調整	歯周治療処置	保存修復処置	再装着	歯内療法処置	口腔外科処置	義歯新製・印象・試戴・その他	口腔ケア・口腔衛生指導	処方		紹介								
3月	3	4	12	12	0	16	39	13	2	12	2	0	1	0	9	31	31	0	0	6	6	0	0	76
4月	19	21	70	68	2	58	163	73	34	29	11	7	6	0	3	431	408	23	0	20	17	3	18	632
5月	31	31	93	84	9	115	175	71	46	40	3	8	1	0	6	458	437	18	3	32	32	0	14	679
6月	22	22	78	44	34	47	126	60	33	28	3	0	1	0	1	177	177	0	0	9	9	0	31	343
7月	3	3	15	3	12	13	1	1	0	0	0	0	0	0	0	156	156	0	0	0	0	0	0	157
3～7月	78	81	268	211	57	249	504	218	115	109	19	15	9	9	19	1253	1209	41	3	67	64	3	63	1887

## 女川地区仮設歯科診療所患者数

年月	日数	患者	うち初診
平成23年11月	25	388	190
平成23年12月	22	399	88
平成24年1月	22	469	108
平成24年2月	24	476	85
平成24年3月	26	422	65



## 仮設歯科診療所の設置について

- 当初、宮城県では10か所程度の仮設歯科診療所の設置の計画があったが、最終的に山元町1か所、気仙沼地区(大谷、歌津、志津川)3か所、石巻地区(女川)1か所の5か所で設置された。
- 設置の条件として、1か所の仮設診療所に対し複数の歯科医師がいること、開設者は宮城県歯科医師会であるが基本的に独立採算で運営を行うこととなっていた。
- 被害地域の状況によっては独立採算が困難な状況であったり、別の場所での早期開業を考え、仮設診療所での診療を諦めたケースもある。
- 後に仮設歯科診療所の経営で赤字が出た場合は補助金が出るようになった。

## 設置された仮設歯科診療所

診療所	地区	開院時期
大谷仮設歯科診療所	南三陸町	平成24年2月開院
歌津仮設歯科診療所	南三陸町	平成23年10月開院
志津川仮設歯科診療所	南三陸町	平成23年10月開院
女川地区仮設歯科診療所	女川町	平成23年11月開院
浅生原歯科診療所	山元町	平成24年2月開院





## 女川町の現状と問題点

- 人口の減少に歯止めがかからない
- 復興住宅、新たな住宅地が高台に散在しているため、公共交通手段も十分ではなく、高齢者は通院困難な方が多い。
- 復興住宅が整備されたが、空き部屋が多くなってきている。
- 女川町では現在でも約200人の行方不明者がいる。

## 災害時における歯科医療の役割と教訓

- 1、災害直後は歯科の需要は少ないが、次第に治療希望の患者さんが増加してくる。
- 2、遺体確認にはDNA鑑定とともに、歯型による身元確認が重要な役割を果たした。しかし女川町の場合は診療のデータがすべて失われたため、身元確認が殆どできなかった。（義歯のネーミングも有効）
- 3、救急蘇生術や全身疾患の基礎的な知識を常に持っているべきである。
- 4、緊急時に必要とされる、機材、薬品などの整備。
- 5、診療体制の復興には、従業員などの協力のほか被災状況に応じた支援が求められる。歯科医師会、自治体の協力も不可欠であり、常に連携を取っておくことが重要である。
- 6、災害後の歯科医療は基本的には通常の歯科医療の延長であり、糖尿病重症化、誤嚥性肺炎などの予防のために、日常から口腔衛生指導などを行うことが重要である。







女川歯科保健チーム 活動報告会  
～ 東日本大震災から10年 ～

無料 要申込



### 女川町における10年間の歯科保健医療活動 ～2011年3月～2021年3月～



日時 2021年 3月 21日 (日) 13:00～16:00

内容 震災後10年を振り返って  
木村 裕 (歯科医師、木村歯科医院 (女川町)、女川歯科保健チーム代表)  
女川町における歯科保健事業の展開  
田守 未来 (女川町保健センター)  
女川町における歯科保健活動への参加  
中久木 康一 (歯科医師)、海津 早苗 (歯科衛生士)、尾形 藍 (歯科衛生士)  
遠方からの中長期的支援  
渡邊 充春 (歯科保健研究会 (大阪))  
西本 美恵子 (NPO法人ウエルビーイング (福岡))  
女川町関係者などからの指定発言  
参加者間での意見共有、など

【お問い合わせ先】 女川歯科保健チーム eagerdental@gmail.com

女川町における10年間の歯科保健医療活動 ～2011年3月～2021年3月～  
女川歯科保健チーム活動報告会～東日本大震災から10年～、2021年3月21日(日)13:00～16:00、ZOOM Meeting

## 女川町における歯科保健事業の展開

女川町健康福祉課健康対策係 (保健センター)

保健師 田守 未来

## 女川町の紹介

位置  
町勢

- 宮城県の東に位置し、日本有数の女川漁港を有する
- 町全域が南三陸金華山国定公園に指定、市街地と漁村集落を除く大半が丘陵地帯



面積

- 総面積：6,535ha (行政区域)  
339.8ha (市街化区域)

人口  
世帯

- 【人口】 平成22年：10,051人 令和3年2月：6,258人  
高齢化率 33.5% 高齢化率 38.5%
- 【世帯】 平成22年：3,968世帯 令和3年2月：3,100世帯  
(国勢調査 (平成22年)、人口統計 (令和3年2月))

## 東日本大震災被災状況 (女川町)

住宅の85%  
が被害

- 死者：575名 死亡認定者：252名
- 住家被害：全壊2,924棟、  
大規模半壊・半壊349棟、一部損壊661棟

災害公営住宅859戸、自立再健宅地全て整備完了

H30年9月完成新庁舎

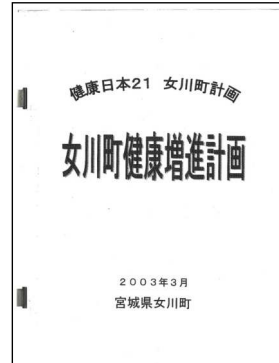


## 公共施設等の変遷

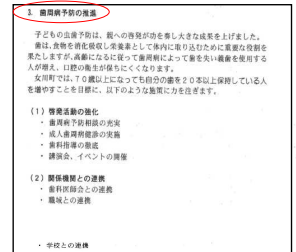
	震災前 H22	震災後 H23	H24	H25	H28 以降
子育て支援センター	1				
町立保育所	4	4※	2		
町立小学校	3	3		1	
町立中学校	2	2		1	
県立高校	1	(平成26年3月閉校)			
県立支援学校 (高等学園)					1
歯科診療所	3	1			

※1箇所流出、1箇所使用不可

## 震災以前の歯科保健活動



### 女川町健康増進計画 (平成15年3月作成)



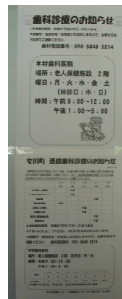
- ・乳幼児健診での歯科保健指導、フッ化物塗布
- ・虫歯のない親子の努力賞  
(3歳児健診で虫歯がなかった子とその親を表彰)
- ・歯科衛生士による保育所での歯科保健指導
- ・歯周疾患検診の実施

## 震災直後の歯科保健活動

### 震災直後：

- 目的「食べることは生きること」
- (1) 入れ歯が流された人への対応
  - (2) 感染症予防のための  
口腔衛生保持

- ・救護所の開所
- ・避難所巡回歯科救護チームによるケア
- ・仮設住宅での巡回歯科相談



震災8ヶ月後、壊滅した女川町に  
女川地区仮設歯科診療所が稼働  
→町内で歯科保険診療が再開

### 震災半年後：

女川歯科保健チームが立ち上がる

メンバー：町内歯科医師、  
継続支援をしていた歯科医師、  
他県ボランティア歯科衛生士

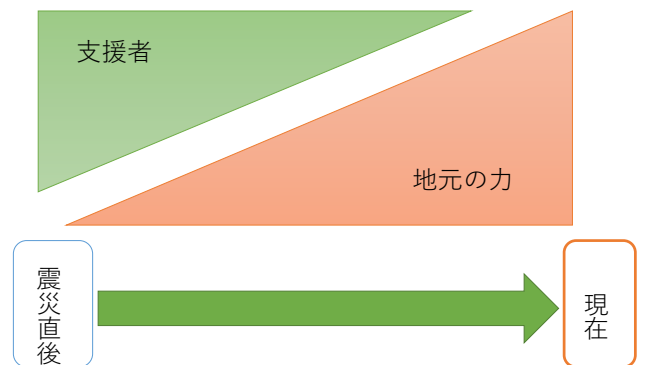


令和元年度まで月1回訪町し、継続支援

## 歯科保健事業の展開

年度	内容
H23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所・応急仮設住宅 歯科相談・歯科保健活動</li> <li>・住民イベントでの歯科相談・歯科保健活動</li> <li>・高齢者福祉施設での口腔ケア指導、歯科保健活動を開始</li> <li>・障害者歯科健診開始</li> </ul>
H24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センターでの歯科相談・歯科保健活動を開始</li> <li>・特定健診結果説明会での歯科相談開始（2017年度まで）</li> </ul>
H26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所における歯みがき指導・歯科保健教育を開始</li> </ul>
H27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所におけるフッ化物洗口開始</li> <li>・小学校における歯みがき指導・歯科保健教育を開始</li> <li>・妊婦歯科健診開始</li> </ul>
H28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立支援学校（高等学園）における歯みがき指導・歯科保健教育を開始</li> <li>・小学校におけるフッ化物洗口開始</li> </ul>
H30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校における歯みがき指導・歯科保健教育を開始</li> </ul>

女川歯科保健チームの協力をいただくことで、歯科保健に関する知識や情報を得て、少しずつ様々な機関で事業展開をしていきました。



### 現在の女川町の体制

行政  
歯科医師0名・歯科衛生士0名

歯科医院1ヶ所  
歯科医師1名・歯科衛生士0名  
※歯科保健指導にもご協力いただいております。

管内歯科衛生士1名のご協力

事業は、保健師・栄養士で調整し、歯科医師、歯科衛生士の協力をいただきながら実施している。

### 現在も継続している事業

#### 妊婦歯科健診事業

平成26年度  
妊婦歯科健診に関する勉強会  
対象：保健師、栄養士



平成27年度  
妊婦歯科健診事業開始  
方法：母子手帳交付時に受診券を渡し、妊婦が町内歯科医院を受診

平成29年度～  
管内統一歯科医療機関、統一様式での実施

### 乳幼児健診

6ヶ月児育児教室から歯磨きの大切さについて指導

○6ヶ月児、1歳児…保健師による保健指導

○1歳6ヶ月児、2歳児、3歳児  
…歯科衛生士による保健指導、  
仕上げ磨き方法についての個別指導、  
希望者へフッ化物塗布



### フッ化物洗口事業

平成26年度  
フッ化物洗口に関する勉強会  
対象：保健師、栄養士、保育所所長、主任

平成27年度～  
保育所フッ化物洗口事業開始

平成28年度～ 小学校でも実施

現在：保育所：年中児3月～水うがい練習実施  
年長児4月～フッ化物洗口実施  
小学校：1学年ずつ実施学年を増やしている。  
令和2年度1～5年生実施

令和4年度から中学校でもフッ化物洗口を実施予定



### 子育て歯科相談会

H24年度～  
子育て支援センターで年2回歯科相談会を開催

- 気軽に相談される方が多い。
- 歯科健診の始まる1歳6ヶ月児前の方も相談に来られる。



### 歯科講話

H26年度～  
町立保育所（2ヶ所）講話：全学年  
染め出し：4・5歳児

H27年度～  
町立小学校（1ヶ所） 対象：1～4年生  
内容：講話（砂糖の摂り方）、  
染め出し等

H28年度～  
県立支援学校（高等学園） 対象：全学年  
内容：講話、染め出し等

H30年度～  
町立中学校（1ヶ所） 対象：1年生  
内容：講話（砂糖の摂り方）、  
染め出し等



### 歯科勉強会

歯科保健事業に関する理解を深める

OH27年度、R1年度  
保育所保育士対象

OH29年度、R1年度  
小学校の先生方対象

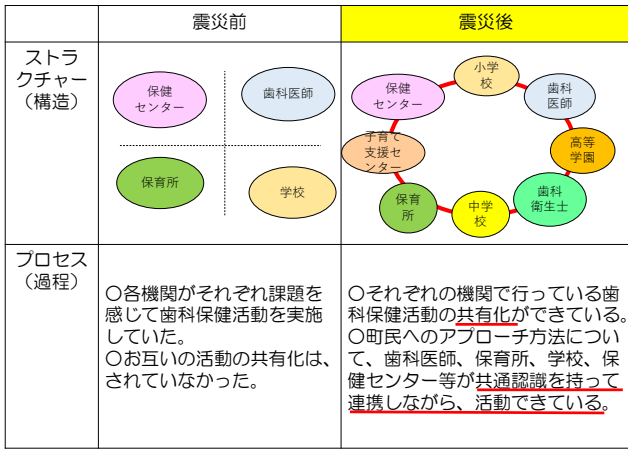
OH30年度  
歯科保健関係者対象  
（子育て支援センター、保健推進員、  
地域包括支援センター）



震災前後の歯科保健事業を  
振り返って

### 歯周疾患検診

受診勧奨内容を拡充して実施  
（広報周知回数の増加等）



アウトカム結果

		女川町	石巻管内	宮城県	全国
1歳6ヶ月児健診1人あたりむし歯本数	H21年度	0.17	0.14	0.10	0.08
	H30年度	0.00	0.06	0.04	0.03
3歳児健診1人あたりむし歯本数	H21年度	1.83	1.79	1.50	1.00
	H30年度	1.02	0.91	0.64	0.44

小学生1人平均永久歯むし歯数(DMF歯数)

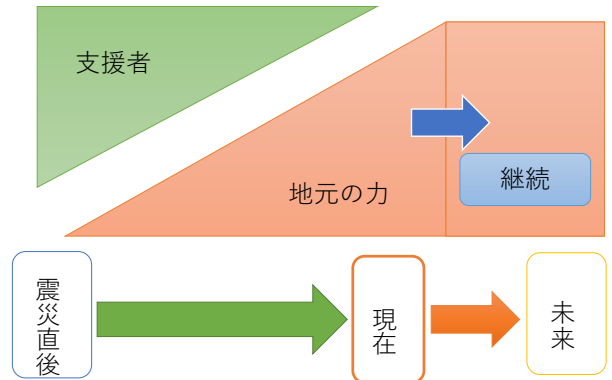
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
H30年度	0	0.03	0.03	0.47	1	0.94	0.42
R1年度	0	0.03	0.1	0.14	0.76	0.81	0.29
R2年度	0	0.06	0.03	0.63	0.29	0.82	0.29

アウトカム結果

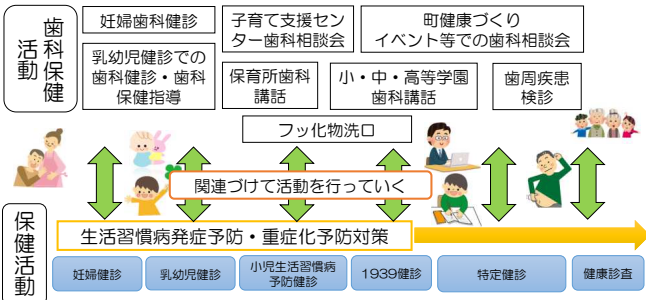
12歳児(中学1年生)永久歯むし歯数(DMF歯数)

	女川町	宮城県	全国
H27年度	0.87	1.2	0.9
H28年度	1.1	1.2	0.83
H29年度	2.1	1.1	0.8
H30年度	0.66	1.1	0.7
R1年度	0.58	1.0	0.7

歯周疾患検診受診率	H24年度	6.2%
	R2年度	8.2%



生活習慣や体の基盤をつくる、乳幼児期・学童期を中心に事業を継続していく。  
常に生活習慣病予防の視点を持ち歯科保健活動を実施していく。



女川歯科保健チーム 活動報告会  
～ 東日本大震災から10年 ～

無料 要申込

女川町における10年間の歯科保健医療活動  
～2011年3月～2021年3月～

日時 2021年3月21日(日) 13:00～16:00

内容 震災後10年を振り返って  
木村 裕(歯科医師、木村歯科医院(女川町)、女川歯科保健チーム代表)  
女川町における歯科保健事業の展開  
田守 未来(女川町保健センター)  
女川町における歯科保健活動への参加  
中久木 康一(歯科医師)、海津 早苗(歯科衛生士)、尾形 藍(歯科衛生士)  
遠方からの中長期的支援  
渡邊 充春(歯科保健研究会(大阪))  
西本 美恵子(NPO法人ウエルビーイング(福岡))  
女川町関係者などからの指定発言  
参加者間での意見共有、など

【お問い合わせ先】 女川歯科保健チーム eagerdental@gmail.com

# 女川町における 歯科保健活動への参加

中久木 康一(歯科医師)  
 海津 早苗(歯科衛生士)  
 尾形 藍(歯科衛生士)

## 方針

- ・ 住民の、住民による、住民のための
- ・ 同じ顔で、関係性を保ち、継続的に
- ・ 不要となるまで



繫～災害歯科保健医療対応への執念～、クインテッセンス出版

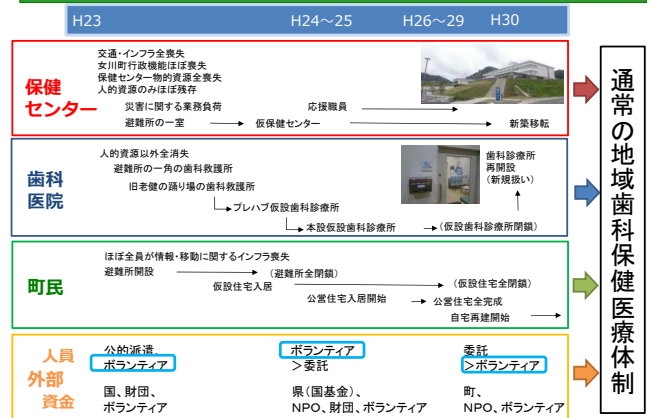
## 変遷

- ・ 歯科救護所運営支援
- ・ 避難所巡回歯科保健医療活動
- ・ 訪問歯科保健活動
  - － 応急仮設住宅
  - － 事業所
  - － 健康関係のイベントなど
  - － 高齢者・障害者施設
  - － 教育施設
- ・ 研修
  - － 保健医療介護福祉関係者
  - － 教育関係者



2018. 公衆衛生学会、東日本大震災後の支援をきっかけとした女川町における歯科保健の継続支援

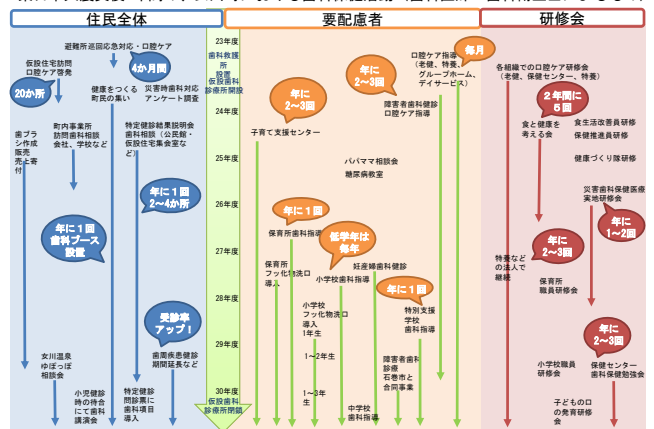
## それぞれの立場からのアプローチ



2018. 公衆衛生学会、東日本大震災後の支援をきっかけとした女川町における歯科保健の継続支援



東日本大震災後の女川町における7年間の地域歯科保健医療の変遷。災害時の経験を活かすためには、133 (1) 162～163、歯界展望、2019年1月号  
 東日本大震災後7年間の、女川町における歯科保健活動(歯科医師・歯科衛生士によるもの)



# DH-Style 2021年3月号

Special topic  
東日本大震災後の女川町における  
歯科保健事業

中久木康一 著

女川町の震災後10年の歯科保健事業

東日本大震災後の女川町における歯科保健事業  
Special topic, DH-Style Vol.15 No.187, 2021年3月号

東日本大震災から10年、あらためて考えたい  
**災害支援に必要な連携とは**

対談・座談会  
森野一真, 小井土雄一, 坂元昇

2021.03.01 週刊医学界新聞  
(通常号) : 第3410号より

## 地域包括BCPを策定し、災害に立ち向かう

地域包括BCPを策定し、災害に立ち向かう

連携には、平時のシステムとして構築が進められている地域包括ケアシステムをベースに、有事に医療・保健・福祉を切れ目なく提供する「地域包括BCP」を策定することが望ましい

災害に備えて地域包括BCPを策定し、医療・保健・福祉の3領域が連携を強化することで、地域全体の復興や回復—いわばレジリエンス向上につながります。医療・保健・福祉関係者が「自分たちの地域を自分たちで守る」意識を持つことも大切です。

<http://eagerdental.jimdo.com/>

### 女川歯科保健チーム

ホーム | イーガーグッズ | イーガーまんが | 歯科活動時期 | 歯科活動内容 | 歯科勉強会

女川の象と健康を考える会 | ニュース | 女川に行ってみよう! | 研修会「被災・社会的弱者」

報告会「女川町における10年間の歯科保健医療活動」 | スタッフ・サポーター | 資料一覧

女川歯科保健チーム  
女川歯科保健チームは、宮城県牡鹿郡女川町の女川地区仮設歯科診療所の木村福先生とともに、女川町保健センター、女川町地域医療センターなどの連携のもと、東日本大震災からの復興を歯科という側面から支援する活動をしています。

Facebook & 連絡する

## 日本災害時公衆衛生歯科研究会

<http://jsdphd.umin.jp/>

歯科医師会・歯科衛生士会、行政・保健所勤務など、災害時の保健医療対応に関わる方々となっても、登録お待ちしております!

日本災害時公衆衛生歯科研究会  
Japanese Society for Disaster Public Health Dentistry (JSDPHD)

2015年6月15日発行  
一世出版  
A3判 2000円

日本災害時公衆衛生歯科研究会  
ML登録係  
jsdphd-admin@umin.net

## 女川歯科保健チーム 活動報告会

～ 東日本大震災から10年 ～

無料 要申込

### 女川町における10年間の歯科保健医療活動

～2011年3月～2021年3月～

日時 2021年3月21日(日) 13:00～16:00

内容 震災後10年を振り返って  
木村 裕 (歯科医師, 木村歯科医院 (女川町), 女川歯科保健チーム代表)  
女川町における歯科保健事業の展開  
田守 未来 (女川町保健センター)  
女川町における歯科保健活動への参加  
中久木 康一 (歯科医師), 海津 早苗 (歯科衛生士), 尾形 藍 (歯科衛生士)  
遠方からの中長期的支援  
渡邊 充春 (歯科保健研究会 (大阪))  
西本 美恵子 (NPO法人ウエルビーイング (福岡))  
女川町関係者などからの指定発言  
参加者間での意見共有、など

【お問い合わせ先】 女川歯科保健チーム eagerdental@gmail.com

## 遠隔地からの中長期的支援

女川町における10年間の歯科保健医療活動

### 女川歯科保健チーム活動報告会

—東日本第震災から10年—

2021年3月21日

オンライン

渡邊 充春

歯科保健研究会

わたなべ往診歯科

## 東日本大震災における歯科支援活動—多賀城—石巻—女川 を結ぶ支援活動プロジェクト

責任団体 歯科保健研究会 渡邊 充春

- 4月28日呼び掛け、6月末まで第1期、8月末まで第2期の活動。
- 自ら被災しながら歯科診療・支援活動を行う現地の活動を補助する形での、被災者・被災地支援を行うことを目的。
- 第1期、女川町の木村裕歯科医師を支援する形での、歯科診療支援活動。診療や往診に必要な機材の搬入。診療の補助。保健活動資材を搬入し、避難所における巡回診療・保健活動を担当。
- 第2期は、避難所巡回活動を7月から引き継ぐ。少人数での木村歯科医院の診療補助。
- 搬入機材は、現地へ寄贈し、木村歯科医院の診療に不可欠な職員給与の援助は、第1期・第2期を通して行う

第60回口腔衛生学会、日本大学松戸歯学部、2011年10月8日～10日、  
口腔衛生学会雑誌 61(4):523, 2011年8月

## 現地被災歯科診療の復興への 支援を中心とした支援活動 —女川町への支援

渡邊充春<sup>1)</sup> 松井久<sup>2)</sup> 文元基宝<sup>3)</sup> 高藤真理<sup>4)</sup>

水谷雄樹<sup>5)</sup> 中久木康一<sup>6)</sup> 星岡才賢<sup>7)</sup> 正田農夫<sup>8)</sup>

<sup>1)</sup>わたなべ往診歯科・歯科保健研究会 <sup>2)</sup>松井歯科・歯科保健研究会

<sup>3)</sup>文元歯科・関西ウェルビーイングクラブ <sup>4)</sup>神戸常盤大学短期大学部

<sup>5)</sup>水谷歯科 <sup>6)</sup>東京医科歯科大学 <sup>7)</sup>星岡歯科診療所・川崎市幸区歯科医師会

<sup>8)</sup>正田歯科・奈良県歯科医師会

## 中長期の活動・取り組み1

- 現地への訪問
  - 2012. 3 石巻—雄勝
  - 2012. 4 女川—雄勝・一周年
  - 2014. 11 石巻—女川—雄勝
  - 2015. 3 宮城—岩手
  - 2017. 5 石巻—女川—雄勝
- 関西での女川報告会
  - 2015. 5 木村先生報告会
- 学会
  - 2011・10 口腔衛生学会・指定報告

## 2014・11 石巻・女川・雄勝



大阪から派遣の  
精神保健福祉士鶴さんから  
復興状況を聞く

新しいスタッフが被災地を  
始めて訪問・木村先生と

開成仮設診療所長先生より地域包括医療についてお話



## 2017・5 石巻・女川・雄勝



医療センター  
斎藤先生と

新しい商店街

保育所健診





2015. 5  
木村裕先生のお話を聞く会  
4団体の共催・26名の参加



継続的な取り組み2

- ・「口腔ケア用品」の配布
- ・イーガー歯ブラシの販売
- ・財政支援・女川マンスリー基金への拠出
- ・「公衆衛生交流会」の開催
- ・日歯「災害コーディネーター研修」受講
- ・日本災害時公衆衛生歯科研究会へ参加
- ・各地域での災害体制への参加
- ・音楽でのつながり
- ・共生地域創造財団への参加

定期的な「口腔ケア用品」の配布  
必要なものを必要な数だけ

女川・雄勝・熊本・岡山・  
新宿・笹島へ



2015. 5復興チャリティコンサート  
石巻市民交響楽団を招いて



シンフォニーホール・  
200名が壇上に

石巻市民交響楽団  
派遣メンバーの紹介

共生地域創造財団

- ・共生地域創造財団は、[NPO法人ホームレス支援全国ネット](#)と、2つの生活協同組合が母体です。
- ・東日本大震災3日後から仙台市に本部を開設し被災3県(福島県、宮城県、岩手県)の在宅被災者や農漁業への支援を中心に活動を行ってきました。女川・石巻蛤浜への支援  
「伴走型支援」をコンセプトとして震災支援および地域づくりの事業を住民の方々と地域に寄り添いながら復興にとどまらない、共生地域の創造を目指しており、生活相談、生活再建、就労支援の活動を続けていきます。
- ・歯科保健研究会としても継続して参加していきます。

これから

- ・忘れない
- ・長期に必要なことを聞きながら継続
- ・南海トラフへ備えて  
自らの地域での防災・減災の取り組み
- ・命とくらしを守る日々の取り組みをさらに強化(生活困窮者への支援)し、備える

## 女川保健チーム活動報告会

女川町における10年間の歯科保健医療活動★  
～2011年3月～2021年3月～

★★ 遠方からの中長期的支援 ★★

NPO法人ウェルビーイング(福岡市)

西本 美恵子



2021、3・21

## NPOウェルビーイング

- ◆ 1973年:「福岡予防歯科研究会」設立
- ◆ 2000年1月:NPO法人として認証
- ◆ 会員:137名
- ◆ 13のプロジェクトで活動
- ◆ 付属研究所:ウェルビーイングラボ  
ネットジャーナル「感性と対話」
- ◆ 所在地:福岡市中央区大名1-15-24-2F
- ◆ Tel.092-771-5212 Fax.092-741-8037
- ◆ <http://www.well-being.or.jp>

## 「女川歯科保健チーム」との 出 会 い

- 生活困窮者歯科支援で繋がりのある中久木先生のお話を聞いて
- 「女川町が1日も早く復興し、その時にみんなが仕事を得て、幸せに暮らせる歯科保健医療体制が整っていること」を目標に、木村先生と保健センターがされている保健活動や健康相談、口腔ケアなどのお手伝いを、数名の歯科衛生士がされている「女川町商工会などとリンクして女川町の元気を後押しする活動をしている」

ヘルスプロモーションだ!

## NPOウェルビーイングの関わり 1.

- ◆ 2012年1月～2020年3月、女川町復興8年計画に合わせ8年間、毎週木曜のウェルビーイングゼミ、ニュース、メーリングで女川のニュース等で女川の報告を聞き、話し、募金を行なった。
- ◆ 「女川歯科保健チーム」開発商品の購入
- ◆ 「日本予防医学協会」(福岡市)が1年間の支援先を探されていたので、女川歯科保健チームを紹介して繋いだ

## NPOウェルビーイングの関わり 2.

- ◆ 女川町フッ素洗口事業開始時は、会員の品川先生(佐世保市でフッ素洗口の実績)が相談にのられた。
- ◆ ウェルビーイング開発商品の歯磨きソング「ゴシゴシデンターマン」、フッ素洗口啓発DVD、フッ素洗口ソング「ブクブクキラー」を送付した。今も女川町で使って下さっている。



♪DVD  
「フッ素洗口でむし歯予防」



♪CD「ゴシゴシデンターマン」  
「ブクブクキラー」

## 支援後に今、思うこと

- 1、「顔が分かる支援」「目に見える支援」を実感できた。
  - 中久木先生の報告、学会・雑誌の発表、講演会「歯科保健チームによる復興支援 災害時にできること」(2015.12、福岡市、WB主催、講師:中久木・太田・後藤先生)等で、活動内容がはっきり分かり、目標に向かって進んでいることを確認でき、安心感があった。
- 2、忘れられない忘れない場所<女川>ができた。
  - それまで大震災、東北のことを漠然と思っていたが、「女川」という固有の場所とつながることができた。報道でも「オナガワ」と聞くと耳傍だて、`鉄道が開通した`お魚市場・センターがオープンした...という復興・復興に喜び、女川特産品を注文したり...、親密な第3・第4...の故郷に思いを馳せることができる。

ありがとう!!

いつまでも忘れない!!